4 日本橋～千住宿

東京都台東区　東京都足立区

泪 橋 ～ 千住仲町

（歩行距離 2064m 24分）

歩く地図でたどる日光街道

http://nikko-kaido.jp/

JZE00512@nifty.ne.jp

⑯千住大橋松尾芭蕉矢立の碑　素盞雄神社と同様の句碑がある。ここから荒川土手までが北千住宿。

⑫誓願寺　「恵心院（えしんいん）と号す」（江戸名所図会）恵心僧都が慶祐法師に命じて建てさせた。天正19年（1591）徳川家康が腰掛けたという榎があった。

⑪素盞雄神社「この地の産土神とす。余人混じて箕輪の天王と称せり。…祭神大己貴命（まつるかみおおあなむちのみこと）、事代主命（ことしろぬし）二座なり。社伝に曰く。往古（むかし）延暦年中（782～806）比叡の黒珍師（こくちんし）東国化度（げど）の砌（みぎり）、この地に至るに小篠（おざき）の茂りたる一堆（いったい）の小塚あり。（この塚によりてこの地を小塚原と号せり）その塚より夜な夜な瑞光を現じ、白衣を着したる二人の翁、荊棘（うばら）生ひたる石の上に降臨ありて、黒珍師に示して曰く、我は素盞鳴命の和魂大己貴命なりと。…「瑞光石　本社の右の方小塚原の上にあり。また荊石（けいせき）ともいへり。往昔（そのかみ）二神老翁に化し。この石上に現じたまふといへり。考ふるに、これおそらくは上古の荒墓ならんか」（江戸名所図会）

「千じゅと云所にて船をあがれば、前途三千里のおもひ胸にふさがりて幻のちまたに別離の泪をそゝく」“行春や鳥啼魚（とりなきうお）の目は泪”元禄2年（1689）3月27日、奥の細道の旅立ちの碑がある。